

平成29年9月13日

## 第15回「花と緑のまちづくり賞」 受賞者決定について

花と緑によるまちづくり活動に顕著な功績があり、市民共働のまちづくりに積極的に取り組む団体を表彰する「花と緑のまちづくり賞」が決定しました。

審査にあたっては良好な環境づくりに加え、他の模範となる活動について、書類による予備審査、現地およびヒアリング調査を行い、平成29年8月4日の最終審査の結果、本年度の受賞団体が決定しました。

### ●「花と緑のまちづくり賞」について

#### (1) 表彰対象

「都市緑化及び都市公園保全美化運動並びに花と緑のまちづくりの推進に功績のあったものに対する市長表彰」の「花と緑のまちづくり地域活動功労者」を受賞した団体のうち、活動を5年以上継続している団体。

#### (2) 対象団体数

花づくりの活動団体、緑の保全管理団体合わせて104団体。

#### (3) 審査

詳細は別紙のとおり

#### (4) 受賞団体及び総評

別紙のとおり

#### (5) 表彰式

日時 平成29年10月14日(土)

場所 舞鶴公園(グリッピーキャンペーン)

#### (問合せ先)

公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会 みどり課企画推進係 (担当 倉橋・肥後谷)

TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848

電子メール mms@midorimachi.jp

● 受賞団体

・NPO 法人 福岡グリーンヘルパーの会

別紙



活動の特長	地域の遺伝子を受け継ぐ里山再生の活動
活動場所	九州大学伊都キャンパスの生物多様性ゾーン 120,000 m <sup>2</sup>
会員数	55名
結成	平成12年
活動頻度	3,4回/月
活動の目的	九州大学伊都キャンパス主要拠点として、未来に美しい豊かな自然や森を残し育てること、環境保全や自然との共生による持続可能な地域社会の形成を目的に活動を続けている。
評価された点	樹木の種子採取から播種、育苗、植樹、育林と全ての過程を実践し、遺伝子レベルでの地域の里山復元を目指している。 また、「どんぐりの森をつくろう」という地域の子供達を対象としたイベントの開催や、企業や自治体との森づくり等、森づくりの大切さや楽しさを伝え、緑に親しむ機会を提供している。

・みどりちかまる推進局



活動の特長	地下鉄沿線に広がっていく花と緑の活動
活動場所	地下鉄七隈線の駅舎出入口8か所 44m <sup>2</sup>
会員数	27名
結成	平成19年
活動頻度	定例会1回/月(植替え…年2回、草取り…月2回、水やり…毎日、剪定…随時)
活動の目的	交通機関の駅に花と緑を増やしたい！地下鉄利用者の元気と癒しになってほしい！来福者の歓迎！という思いで地域の緑のコーディネーターが中心となって活動を開始。
評価された点	薬院、六本松、橋本駅の3駅から始まり、現在は8駅まで広がっている。今後も福岡市内の各駅に広げていく計画。 緑の少ない都市部の地下鉄駅出入口に緑をベースとした植栽になっており、目に入ってきやすい、面白い効果のあるデザインになっている。

● 総 評

審査委員長 和田 博幸

市民活動で街角に花壇をつくったり花のコンテナを置こうとしたり、または地域に木を植えそれを育てようとしていたりしても、様々な制約があり簡単にはできません。まずその場所に花を植えたり置いたりしていいのか、花や木をいったん植えたら、植えっぱなしにはできないものだから、水やりや花がら摘み、剪定などの管理は誰がするのか、花が咲き終わったら次の花に植え替えられる保証はあるのか、地域の潜在植生と整合しているのかなど、合意や許可などの手続き、活動団体の組織作りや人員の役割分担、植栽とその管理の技術習得、生物多様性の考慮など、様々な対応が求められます。

花壇で咲く花はきれいで人目に付きやすいものだから、そればかりに注目されがちですが、その前段階や過程でも、花や木に直接関わらない地道で粘り強い活動も必要なのです。このことは地域の緑の保全や復元についても同様です。

審査員はこれらの目立たない活動についても気に留めながら審査に当たりました。「花と緑のまちづくり賞」は花壇の出来栄や緑の量を増やそうと単に木を植える活動を評価するのではなく、地域の自然を大切に、美しい街並みや環境への配慮、関わる人たちがいきいきとして取り組むトータルな活動内容を評価します。その理由は、そういった評価をすることが、真に花や緑が豊かで持続可能なまちづくりにつながるからです。

全国各地で様々なまちづくりが取組まれています。ここで使われている「づくり」という意味は、関わる人たちの心が合わさって具現化させる目標の最終形をいいますが、形になるまでの過程がまちづくりにとはとても大切なのです。

今年も地域のことを思いやるいくつもの花や緑の素敵な活動に出会えました。受賞された団体の皆さんには、これからも花と緑の市民活動の模範として活躍されることを期待しています。

● 審 査

	工程	内容	日程	対象団体数
1	審査対象団体選出	実施要領に基づき選出	—	104 団体
2	事務局一次審査	書類審査	平成 29 年 6 月 8 日	104 団体→ 6 団体
3	事務局調査	現地調査、ヒアリング調査	平成 29 年 6 月～7 月	6 団体
4	審査委員審査	書類審査、現地審査	平成 29 年 8 月 4 日	6 団体→ 2 団体

- 【審査委員】
- ・(公財) 日本花の会
  - 和田 博幸氏 (委員長)
  - ・株式会社西日本新聞社
  - 肥塚 茂尚氏
  - ・草木花景
  - 野見山 由紀子氏
  - ・福岡市住宅都市局みどりのまち推進部
  - みどり推進課長
  - ・公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
  - みどり課長